

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		環境関連施設体験学習				所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	111	計画事業名	小中学校における環境教育の充実			
	長期総合計画体系	[基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり					事業の開始・終了年度		
		[小 柱] (3)持続可能な都市環境づくりの推進					[事業開始]	平成 2 0 年度	
		[施 策] ③ 環境学習、環境配慮行動の推進[42]					[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	その他		[法令等名]	案件ごとに起案				
	事業対象	区内小学校							
	事業目的	清掃施設見学のスクールバスを配車し、小・中学校の環境教育の充実を図る。							
	事業内容	環境教育支援のため、清掃施設見学のスクールバスの配車を行う。							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	清掃施設見学用バス配車台数 (台)		35	34	35	35		
		清掃施設見学会実施回数 (回)		19	33	32	19		
	決算額 (単位：千円)					3,818	3,558	2,090	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			1,620	1,499	1,278		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			3,819	3,558	2,090		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0		
		総経費			5,439	5,057	3,368		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
一般財源 (区負担額)			5,439	5,057	3,368				
前年度から改善した事項	昨年度より引き続き、バスの台数を精査し適正な事業の執行の実施に努めた。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	他の学校行事等を考慮し、現状規模の維持が望ましい。						
	効率性	3	計画的に実施することで、バス台数を必要最低限にし、コストの削減につなげるようにしている。						
	手段の適切性	3	予算の範囲内で学校のニーズに対応できているため、適切である。						
	目的達成度	4	目標回数実施することができた。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
区の重点施策である環境教育の推進を支援するために、引き続き実施していく。						維持			